

令和5年度

地域のつながりを支える
活動を応援します

「筑前町を良くする助成金」

交付のてびき



この助成金は、筑前町の皆様にご協力いただいた共同募金が財源です。

筑前町に暮らす
「住民の、住民による、住民のための福祉のまちづくり」
を、応援する助成金です。

地域のつながりを支える活動を応援します

「筑前町を良くする助成金」

1. 目的

誰もが安心して暮らせる福祉のまちづくりを進めることを目的に、「筑前町を良くしよう！」と、筑前町民が主体的に進める福祉活動に対して広く支援することを目的に「赤い羽根共同募金配分金」を財源に助成金を交付します。

2. 助成対象の団体

地域活動や地域貢献活動を行うグループまたは団体等（法人格を問わない）で、筑前町内に活動拠点を有し、下記①～⑤の要件を満たしているグループまたは団体。

- ①事業主が非営利であること
- ②事業が公益性を有すること
- ③特定の企業、政党、宗教団体等から独立して活動していること
- ④事業の実施に必要な資金の確保が困難であること
- ⑤当該事業について公的助成を受けていないこと

3. 助成の対象となる事業

筑前町内で、地域福祉を推進する「筑前町を良くするための事業」とします。
(活動期間：当該年度の4月1日から3月31日まで) ただし、次の事業は対象にしません。

- ・地域福祉的な性格が明らかでない事業
- ・政治、宗教、組合の運動の手段や営利のためにおこなう事業
- ・助成による効果が期待できない事業
- ・他の助成金や補助金と重複する事業

※グループ、団体の構成員を対象とした慰労会や忘年会等は助成対象外

4. 助成金の額

令和6年3月31日までに実施する「筑前町を良くするための事業（活動）」の総事業費の上限10万円（1千円未満は切捨て）です。

※同一事業への2年目以降の助成金は、事業実施経費に対して80%の助成額とします。（令和5年度から実施）

助成対象となる経費（事業に直接使う費用）	助成対象とならない経費
事業の実施に直接必要な経費 (講師謝礼、講師旅費、消耗品費、印刷製本費、通信運搬費、保険料、使用料及び賃借料、会議費、食材費、物品購入費(利用者の処遇向上に係るもの)、備品(活動に特化したもの)、その他審査委員会が認める経費	団体運営費 (飲食費、慶弔費、役員手当、人件費、負担金、予備費など) 事務機器備品 (パソコン・プロジェクタープリンター・カメラなど)

5. 助成期間

同一事業に対し、3年間の期限を設け助成を行います。(令和4年度から施行)

6. 応募方法

- ① 所定の申込書（様式1）に必要事項を記入のうえ、筑前町社会福祉協議会の窓口
に令和5年6月末日までに提出して下さい。
- ② 助成金予算の範囲内で申請受付を延期し、年末まで受け付けるものとする。
- ③ 申込書等は、筑前町社会福祉協議会の窓口でお渡し致します。

7. 審査方法

- ① 審査は、「筑前町をよくする助成金」申請書をもとに、社会福祉協議会会長、副
会長、事務局長、係長、担当者を審査委員とし書類審査します。
- ② 書類審査で不明な点が出た場合は、面接審査に切り替える可能性があります。

8. 交付決定および助成金交付

- ① 7月中旬に、申請者へ審査結果を文書により通知します。
- ② 7月末日までに指定口座に振り込みます。
- ③ 期限を超えた申請の審査結果については、速やかに文書通知するものとする。

9. 実績報告

- ① 実績報告期限の令和 6年 3月15日（金）、もしくは事業が終了した時のい
ずれか早い方で提出して下さい。
(上記日程日時点で提出が困難な場合には社協までご連絡ください。)
- ② 提出時には、活動がわかる**写真と領収書**の添付が必要です。

10. 共同募金配分金事業の明示について

- ① 事業の実施にあたっては、共同募金配分金を財源にした事業であることを案内チラシ等に明示してください。
- ② ミニのぼり旗、共同募金マークシールを活用の場合は社協にございます。

11. 助成金の返金・事業計画の変更

何らかの理由で事業が実施できない場合や、計画していた事業を変更する場合は、社協までご連絡ください。助成金の返金を求める場合があります。

12. 共同募金運動への参加協力

赤い羽根共同募金運動にご理解をいただき、共同募金運動に街頭募金運動等のボランティアとして声をかけさせていただく場合があります。

令和5年度「筑前町を良くする助成金」事業申請書

筑前町社会福祉協議会 会長 様

1. 申請事業

事業名	事業の内容や目的を、端的に表す分かりやすい名前を付けて下さい。 <p style="text-align: center;">〇〇区地域防災力向上事業</p>	令和4年度からの申請年数
		年目
事業の目的	解決したい地域福祉課題をご記入ください。 <p style="text-align: center;">防災意識の向上と継続を目指し、〇〇区役員、区民が一丸となって取組みを進める。</p>	
事業内容	事業内容を全体的に簡潔にまとめて下さい。 ①防災懇談会・・・区の3役員・区民で〇〇区の防災や災害で気になることなどについて意見交換する。 ②防災事業と炊き出し訓練の実施・・・筑前町の防災に関する出前講座でHUG等の体験型事業を実施する。 炊き出し訓練の後、防災ベンチの完成披露を兼ねた交流をする。 ③かまどベンチの作成・・・区民の手作りでかまどベンチを作成し防災啓発の象徴として活用する。	
参加予定人数	主な活動場所	
のべ 150人	〇〇区公民館・〇〇公園	
期待できる効果と今後の展望 〇〇区の防災力向上と助け合いの意識の向上を目指す。 次年度以降も継続して事業を実施し、〇〇区の広域的な防災活動として定着させたい。		
事業を進めるうえで、社協に期待する支援や共有しておきたいこと 事業仕組みづくりの助言 防災出前講座等の実施の際の協力		

2. 申請団体

申請者	住所	〒838-0123 筑前町篠隈456	
	団体名	(ふりがな) ○○区	
	代表者	(役職) 防災リーダー	(氏名 ふりがな) ○○○○ 印
	電話	090-7890 - 1234 (日中に連絡が取れる番号)	
申請者以外に連絡を希望される場合のみご記入ください。	連絡先	電話	
	氏名	携帯電話	

3. 団体の概要

団体の目的	○○区の防災に関する意識向上の推進を目指す。		
主な活動	防災訓練やポンプ作動訓練等の○○区に関する防災事業全般		
団体としての問題点や課題	1年ごとに任期が終わる区役員が担当していることから、事業を継続して実施して実績としての成果を積み上げて行くことが難しい。		
構 成 員 名 簿 (既存の名簿を添付して頂いても結構です)			
1	別紙のとおり	11	
2		12	
3		13	
4		14	
5		15	
6		16	
7		17	
8		18	
9		19	
10		20	

※20名を超える場合は、別紙(様式問わず)にて報告下さい。

筑前町を良くする助成金【様式1-②】

4. 事業予算書

※通常の年間予算全部ではなく、本事業に係る経費のみをご記入ください。

※A（収入合計）とB（支出合計）は、同額になります。

科 目	金 額	積算内訳
収入の部		
共募配分金助成金	70,000	筑前町を良くする助成金
参加費	8,000	@100×80人（大人のみ）
収入合計	78,000	A

科 目	金 額	積算内訳
支出の部		
会議費	3,000	お茶等
消耗品費	20,000	ペン等(防災懇談会・防災事業)・紙・インク代等
食材料費	5,000	炊き出し訓練時食材
材料代	50,000	かまどベンチ作成費 (セメント・レンガ等)
支出合計	78,000	B

AとBは同額になります

令和5年度「筑前町を良くする助成金」請求書

筑前町社会福祉協議会 会長 様

請求金額 70,000 円

上記のとおり助成金を請求します。

申請者	住所	〒838-0123 筑前町篠隈456	
	団体名	(フリガナ) ○○ 区	
	代表者	(役職) 防災リーダー	(氏名 フリガナ) ○○○○ 印
	電話	090-7890-1234 (日中に連絡が取れる番号)	
申請者以外に連絡を希望される場合のみご記入ください。	連絡先	電話	
	氏名	携帯電話	

振込口座 (個人の口座には振込できません。団体で開設した口座を指定下さい。)

金融機関 △ △ 農協	支店名 □ □ 支店	種類種別 (普通・当座)
口座番号 567890	口座名義 (フリガナ) マルマルク ボウサイリーダー マルマルマルマル ○○ 区 防災リーダー ○○○○	

※口座名義等のまちがいが無いよう、必ずフリガナもご記入ください。

口座確認のため、通帳見開きページのコピーを張付下さい。

貼付欄

令和5年度「筑前町を良くする助成金」事業実績報告書

筑前町社会福祉協議会 会長 様

事業名	〇〇区地域防災力向上事業	令和4年度からの申請年数
		年目
助成決定額 ①	<u>70,000</u> 円 助成金額を記入して下さい。	
精算額 ②	<u>70,000</u> 円 助成金額のうち、支出した額を記入して下さい。	
差 額 ①—②	<u>0</u> 円 差額が生じた場合は返金になります。	

申請者	住所	〒838-0123 筑前町篠隈456	
	団体名	(ふりがな) 〇〇区	
	代表者	(役職) (氏名 ふりがな) 防災リーダー 〇〇〇〇 (印)	
	電話	090-7890-1234 (日中に連絡が取れる番号)	
申請者以外に連絡を希望される場合にのみご記入ください。	連絡先	電話	
	氏名	携帯電話	

【添付書類】

- 事業報告書
- 会計報告書
- 領収書 (コピー可)
- 活動がわかる写真・広報物等

※提出期限 令和 6年 3月15日 (金)

(3月15日時点で提出が困難な場合は場合は社協までご連絡下さい)

事業報告書

事業の内容とその実施方法につき実施の体制も含めて簡潔に記入してください。

※実施日、実施回数、参加者数など、実施された事業の内容がわかるように記入して下さい。

〇〇区地域防災力向上事業 準備会議

5月〇日 準備会議
役員18人 災害ボランティア 3人
8月〇日 最終打合せ
役員17人 災害ボランティア 3人

①防災懇談会

〇月〇日 区の防災への取組み状況確認
参加者 26人
〇月〇日 区の事例報告から防災を考える
参加者 28人
〇月〇日 広域的取組みの必要性を考える
参加者 30人

②防災事業

7月〇日 事前勉強会（防災出前講座）
役員18人 災害ボランティア3人
参加者 25人
11月〇日 防災訓練（炊き出し・区民交流）
役員18人 災害ボランティア3人
参加者 91人（内子ども8人）

③かまどベンチづくり

9月〇日、〇日 防災ベンチづくり
住民全員に声をかけ実施
（2日間 のべ50人）

※これをもとに、助成事業の内容を社協だより、共募だより、社協ホームページ等で公開する場合がありますので、全体的に簡潔にまとめて下さい。

筑前町を良くする助成金【様式4-②】

事業の成果（この事業を通して感じたこと、良かったこと、嬉しかったことなどをご記入下さい。）

- ・各隣組の課題を区の課題として皆で話し合い共有することができた。
- ・かまどベンチづくりや炊き出し訓練を通して、区民が連携して取り組むきっかけができた。
- ・助成を受けて活動したことで、共同募金の意義を知り、考えるきっかけができた。

事業の課題（今後の課題）

- ・一部の役員の負担にならないように、取り組みへの理解や協力を住民に広く呼びかけて行く。

筑前町を良くする助成金【様式4-③】

会計報告書

科 目	金 額	積算内訳
収入の部		
共募配分金助成金	70,000	筑前町を良くする助成金
参加費	10,400	@100×104人(防災訓練)
収入合計	80,400	A

科 目	金 額	積算内訳
支出の部		
会議費	3,000	茶菓子等(@500×6回)
消耗品費	20,000	方眼紙・ペン等・コピー用紙 インク代
食材料費	7,400	炊き出し訓練時食材費 (カレーライス)
材料代	50,000	かまどベンチ作成費 (セメント・レンガ等)
支出合計	80,400	B

AとBは同額になります

※A(収入合計)とB(支出合計)は同額となります。

※領収書のコピーを提出して下さい。

筑前町を良くする助成金【様式4-④】

領収書（コピー可）貼付用紙（領収書をここへ貼って下さい。）

貼 付 欄

令和5年度「筑前町を良くする助成金」
決定通知書

〇〇区
防災リーダー 〇〇〇〇 様

助成金額 70,000円

ただし当事業への助成回数 年目

令和 年 月 日に申請のありました、〇〇区地域防災力向上事業の助成額が
標記金額に決定しました。

つきましては、請求書（様式3）を同封しておりますので、8月末日までに
社会福祉協議会まで返送して頂きますようお願いいたします。

返送先・問合せ

朝倉郡筑前町篠隈373

筑前町社会福祉協議会 担当 甲斐

電話 0946-42-4555 FAX 0946-42-5941